

◆ 卒業を前に「命」・「生き方」について考える。

1月22日（火）、有田川町在住の上前喜彦先生を講師にお迎えし、3年生を対象に、「献血学習」を行いました。上前先生は、25歳の時、急性リンパ性白血病になり、抗がん剤や輸血治療による壮絶な闘病の後、妹さんから骨髄提供を受けられ骨髄移植されました。その後、一年間の入院と自宅療養を経て、回復されました。現在は、弾き語りコンサートなどで活躍され、骨髄移植や献血の大切さについて各地で講演をされています。当日は、3曲の弾き語りを交えながら、自身の闘病、お世話になった方々のこと、病気を経て変わっていった考え方や生き方についてのお話をいただきました。また、講演後、生徒からの質問にも丁寧にお答えいただきました。卒業を控えた3年生には、先生の言葉ひとつと言ひとつが心に響き、自分のこれからの生き方について考える貴重な機会になったのではないのでしょうか。



◆ 平成最後の3学期が始まる。

1月8日（火）、3学期始業式を中学校高等学校合同で行いました。全校で校歌を斉唱した後、池田校長から訓話があり、その中で、「生徒の皆さんには、普段から力を抜くことなく、何事にも精一杯頑張ることを続けてください。そのことが、いざという時に力を発揮することに繋がるのです。」との激励がありました。

今年5月には新元号とともに、新たな時代が始まります。新たな時代を生きる皆さんが、充実した悔いのない高校生活を送ることを期待します。



◆ 大学入試センター試験終了

1月19日（土）、20日（日）、2019大学入試センター試験が実施されました。日高高校166名は向陽高校（和歌山市）で受験しました。両日とも担任の先生、キャリア指導部の先生が校門前で一人一人に声をかけるなか、生徒たちは緊張しながらも、笑顔で元気に会場に入っていました。1月21日（月）には自己採点、1月26日（土）、27日（日）に三者面談を行い、出願となります。1月末からは、2次試験に向けての対策補習が各教科で始まります。受験もラストスパート。教員も全力で、サポート、応援します。進路実現に向けて、最後まで粘り強く頑張りましょう。



◆ 寄贈いただきました。

南画「玉川峡」 北 喜久子 作
保田龍門画伯の義妹 北 喜久子氏の甥である 本校元職員 池本 護 様より、寄贈いただきました。

